

活力ある小集落実現プロジェクト

1 プロジェクトの概要

人や地域のつながりが大切にされている岩手県の風土を土台としながら、第4次産業革命技術や遊休資産を生かした生活サービスの提供、人材・収入の確保、都市部との交流の促進など、地域の課題解決に向けた住民主体の取組の促進を通じて、**将来にわたり持続可能な活力ある地域コミュニティの実現**を目指す。

2 これまでの取組状況

■ 商店や診療所、公共交通機関等の縮小・撤退により、日常の生活サービスの利用が困難になることが懸念されることから、**ドローン配送実証やIoTを活用した高齢者見守り支援を実施**。
社会実装化に向けて更なる実証が必要。

■ 人口減少や担い手不足により、集落活動の維持が困難になることから、**地域コミュニティ実態調査や外部人材を活用する実証事業を実施**。
地域おこし協力隊について、活動の支援や任期終了後の起業・定着に向けた支援強化が必要。

■ 県、市町村、大学、NPOで構成する「**活力ある小集落実現プロジェクト研究会**」を設置し、有識者の知見を踏まえた施策検討を実施。
研究会や実証事業に参画する市町村が限定的であることから、**全県へ取組を拡大することが必要**。

3 令和4年度の具体的な取組

1. 第4次産業革命技術を活用した日常生活の支援や世代間交流の促進

■ 買い物困難者を対象にした**ドローン物流の社会実装を推進**し、その成果を県内他地域へ波及

自治体や民間の取組

■ 電話やAIスピーカーを活用した服薬管理・見守り支援
(岩手県、岩泉町、高齢者の見守りとコミュニティづくり促進協議会)
■ アップルウォッチを活用した遠隔診療・見守り支援
(八幡平市メディテックパレコンソーシアム)

■ AI配車システムを活用したフルデマンド型乗り合いバス
■ 行政手続きが簡単にできる「バーチャル町役場」を目指したアプリ運用 (紫波町)
■ ケーブルテレビを活用した見守り支援
■ トヨタグループ及び町・商工会と連携した買い物支援 (葛巻町)

2. 人と人とのつながりを守り、育てる仕組みの構築

■ 県内外の他産業従事者を対象に、**本県で農業・農村に関わるための情報や体験する機会を提供**し、副業としての農業への従事や本県の農業・農村の関係人口を拡大

■ 農業者等に対する**直接支払交付金の交付**により、中山間地域等における耕作放棄の発生を防止し、中山間地域の果たしている国土の保全等の多面的機能を確保

■ 多様化するグリーン・ツーリズム旅行者のニーズに対応できる実践者の育成や受入団体の体制の高度化と連携強化を支援

■ いわて農業農村活性化推進ビジョンに基づき、中山間地域等の**地域ビジョンの作成**と活動をけん引する**集落リーダー**を育成するとともに、地域ビジョンに係るモデル的な活動を支援

■ 農林漁業者が自ら農林水産物を加工・販売する取組や、各地域の農林漁業者と加工・販売事業者等が連携した取組、意欲ある生産者の**6次産業化の取組**を支援

■ 地域の様々な困りごと、ニーズに合った支援をするため、外部から人を呼び込む仕組みとして**地域支援フレーム**（「ふるさと納DAY」、「助っ人STAY」）を構築

■ 市町村に対する**特定地域づくり事業協同組合制度**の周知や当該制度の活用を促進するとともに、実施希望のある市町村に対しては、伴走型支援を実施

■ 地域おこし協力隊等OB・OGを核としたネットワーク等と連携し、地域おこし協力隊の受入拡大、活動充実及び任期終了後の県内定着に向けた取組を実施

■ 地域が求めるスキルを有する県外人材が、複業や地域課題解決を通じて地域と関わりを深める機会を創出

3. プロジェクト推進に向けた連携体制の構築

■ 「活力ある小集落実現フォーラム」を開催し、プロジェクト事業を推進するとともに、**小集落に係る支援事例や課題を市町村と情報共有**し、市町村による小集落支援を促進



いわて農村コミュニティ活性化セミナー



地域おこし協力隊

4 今後の取組方向

■ 安心して暮らし続けられる地域の実現に向け、**健康管理や日常生活の利便性を確保**

■ 地域課題解決に向け、世代間交流やコミュニティビジネスなど、**住民主体の取組を促進**

■ 担い手の確保に向け、地域資源を生かした地域外との交流により、**関係人口や移住者を拡大**

■ 県内各地に広がる、住民が主体となった**地域コミュニティ活動**に向け、**地域コミュニティ間の交流や情報交換を促進**

将来にわたり持続可能な活力ある地域コミュニティを実現

